◆個人投資家向け会社説明会（３月４日）での質疑応答内容

【質問】

ＬＮＧをロシアから輸入しているが、令和 5 年の数量と全体に占める割合を教えてほしい。また、今後も継続する見通しなのか、ロシアからの輸入はゼロにしていただきたい。

【回答】

割合については、輸入している量の 50%はロシアとなっている。数量としては、当社の年間調達量である約 35 万トンの半分にあたる、17 万トン程度を輸入していることになる。

2027 年度（2028 年 3 月）までの契約なので、その契約については、しっかり継続していく。その後については検討中であるが、交渉に影響があるので、詳細は差し控えさせていただく。

ゼロにという点については、ご意見として重く承る。

【質問】

電力事業の拡大について、具体的には発電所を建設するということなのか。ガス会社がどのように電力を売るのか教えてほしい。

【回答】

発電所の建設も実施するが、既存の電力市場を最大限に利用してくことで、大きな投資をすることなくサービスの拡充を進めていきたいと思っている。市場で買った電気をご家庭にお届けするという形となり、証券会社を介して買われる株と同じで中間的な役割のイメージ。

個人にはできないが市場に登録すると、電力小売会社となって、30 分ごとで決まる電力価格で市場から電気を買う権利を受けることができる。その権利

を利用し、お客さまが市場から電気を買うお手伝いをさせていただくというイメージを持っていただくと良い。

電気は作ったらその場で使用してしまうため、溜めるということができない。もし発電するとなると、大規模な投資が必要となり、そのような投資は各企業できない。発電して余った電気は、市場に放出されるので、各社が必要分を購入する。電力自由化になってから久しいが、そういった市場が日本全国にできあがっている。価格が 30 分ごとに決まっていくので、その電気の価格をできるだけ透明感を持たせて販売するという仕組みをつくり上げた。

【質問】

ＤＸについて、具体的にどのようなことをされているのか教えてほしい。

【回答】

ＤＸはデジタル技術を活用して効率化を進めることにより、労働時間の削減や市場の拡大を実現することであると思っている。先ほども申し上げたが、これまでは人が実施していた作業を機械やＡＩ（コンピュータ）で自動化することにより、ガス事業、LPG 事業から１割程度の要員を創出する事業の効率化というＤＸと、もう１つは、その 70 名で電力小売事業を大きな投資なく実施し市場を広げること、この２つをＤＸの姿として完成させようとしている。

以　上